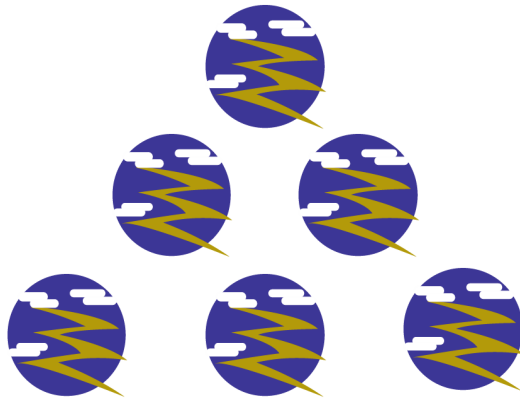


～自然を活かした市民の学び～

# 雷サミット 6

**日時** 2007年3月24日(土) 開会13:00～閉会17:00

**会場** 東北公益文科大学大学院ホール  
山形県鶴岡市馬場町14-1



～ 雷サミット同時実施イベント等のご紹介 ～

■雷写真コンテスト受賞作品展

音羽電機工業(株)の協力のもと、雷の決定的な瞬間を捉えた学術的に貴重な作品や、日本各地で撮影された雷写真を、サミット会場に展示します

■「雷文化論」

第1回から第4回までの雷サミットで講演された「雷文化論」が一冊の本となりました。全国に先駆け、雷サミット会場でご購入することができます。

■雷サミット公式ホームページ・雷に関する総合ポータルサイト「かみなりねっと」  
(<http://www.kaminari.gr.jp>) も是非ご覧下さい!!

- 主催 雷文化都市構築推進委員会
- 共催 鶴岡市
- 協力 東北公益文科大学、慶應義塾大学先端生命科学研究所、山形大学農学部、鶴岡工業高等専門学校、(財)地域開発研究所、特定非営利活動法人産学連携推進機構、雷害リスク低減コンソーシアム
- 後援 (財)日本気象協会東北支局、(社)日本気象学会、日本大気電気学会
- 協賛 音羽電機工業(株)、(株)NTTファシリティーズ

基調講演  
13:05~



『雷の科学入門』



講師 石井 勝 氏

東京大学生産技術研究所教授

1971年東京大学工学部電気工学科卒業。1976年東京大学大学院博士課程修了。工学博士。同年東京大学助教授。1984年～1986年マサチューセッツ工科大学客員研究員。1992年東京大学教授、生産技術研究所勤務、現在に至る。主として雷、高電圧測定の研究に従事。電気学会理事・上級会員。CIGRE(国際大電力システム会議)SC C4国内分科会委員長。IEEE(米国電気電子工学)Fellow。AGU(米国地球物理学連合)、気象学会等会員。

特別講演  
13:50~



『雷をデザインする』



講師 喜多 俊之 氏

プロダクトデザイナー

1942年大阪市生まれ。1969年よりイタリアと日本でデザインの制作活動を始める。

イタリアやドイツ、日本のメーカーから家具、家電、家庭用品など、多くのヒット製品を生む。最近では、液晶テレビ「AQUOS」や家庭用ロボット

「wakamaru」、炊飯器「RIZO」を手掛ける。

作品の多くは、ニューヨーク近代美術館など、世界のミュージアムにコレクションされている。また、ライフワークとして日本各地の伝統工芸、地産産業の活性化にも携わる。

講話  
14:50~



『庄内の雷・竜巻の自然誌』



講師 植松 芳平 氏

生涯学習施設「里仁館」館長

1937年生まれ。山形大学文理学部理類地質鉱物学科卒業。生涯学習施設「里仁館」館長。雷文化都市構築推進委員会副委員長。大学卒業後、県内の各高等学校で教鞭をとる。

この間、庄内地方依雪研究会の設立や、県立海浜の家所長、県立博物館長、県立松山里仁館高等学校長、県立酒田東高等学校長を経る。

著作：『山形大百科辞典』(共著)、『山形の大地と庄内の大地』(共著)、『鶴岡の自然』(共著)、『農村通信』に「庄内の自然誌」を執筆中

学習セッション  
15:20~



『雷文化論序説』



講師 妹尾 堅一郎 氏

東京大学先端科学技術研究センター特任教授

東京大学先端科学技術研究センター特任教授(知財マネジメントスクール校長役)、NPO産学連携推進機構理事長。

慶應の鶴岡タウンキャンパスをプロデュース以来、鶴岡ファンクラブ東京代表。鶴岡で雷の恐ろしさと深い意味に目覚めて「雷サミット」を立ち上げ、以後、雷文化都市構築推進委員会会長、雷害リスク低減コンソーシアム座長。「鶴岡カミナリ音頭」を作詞・プロデュース。鶴岡シルクサミット実行委員長。

著訳書：『雷文化論』(慶應義塾大学出版会)、『雷害リスク』(ダイヤモンド社)、他多数

発表  
16:05~



『第4回雷写真コンテスト結果』



講師 吉田 修 氏

音羽電機工業(株)取締役社長

昭和17年 京城府生まれ、昭和40年 甲南大学卒業、平成7年 取締役社長就任

『地球の環境問題が叫ばれている中で、温暖化は避けられない事実となり、各地で集中豪雨などの異常気象が起こり、電気の大敵である「雷」の発生頻度も高くなっております。また、高度化した電子機器は省エネルギーへと発展し、雷サージ・ノイズの影響を受けやすくなってきました。あらゆる電気設備・機器・建築物全ての「防雷・耐雷」に関して、半世紀以上に及ぶ豊富な経験をもつ当社は、雷対策のご要望にお応えできる日本唯一の「雷の総合メーカー」として、新しい21世紀、「ITの時代」に社会のご要望に迅速に対応できる体制を整えております。』(音羽電機工業(株)会社案内より)



『雷害リスク低減コンソーシアム活動状況』



講師 江幡 正彦 氏

雷害リスク低減コンソーシアム事務局長  
(財)地域開発研究所研究部次長

1980年慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程修了、1983年財団法人地域開発研究所研究部研究員、2003年より現職。

『変貌する首都圏～核都市戦略の提言～』(公務職員研修協会、1995)、「東京：変遷過程にある世界都市」(NIRA政策研究、1996)、「雷害リスク低減に向けた啓蒙普及に取り組む」(雷害リスク低減コンソーシアム著『雷害リスク』(ダイヤモンド社、2003)など論文多数。



『第3回「雷」俳句・川柳コンテスト結果』



